

かわさき  
プラスチック循環  
プロジェクト

# 川崎市内の取組紹介



東日本旅客鉄道株式会社  
株式会社JR東日本環境アクセス

- JR東日本グループは、事業活動において排出されるさまざまな廃棄物の排出量・処分量削減に向けて、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の取組を進めています。
- 川崎市内の駅で回収されたペットボトルはかわプラでの循環により、新たなペットボトルへ再生しています。また、一緒に回収される廃プラスチックはRPF化により水素として生まれ変わり、新たに鉄道等のエネルギー源として活用できるか検証を進めています。



株式会社セブン・イレブン・ジャパン  
株式会社イトーヨーカ堂

- セブン&アイグループは、ペットボトルの拠点回収を行っています。
  - 川崎市内の下記店舗に、使用済みペットボトル回収機を設置しています。
- ① セブン-イレブン店舗 120店舗
  - ② イトーヨーカドー 5店舗

ペットボトル回収機の使用法

セブン&アイグループの取り組み  
ペットボトル回収機を設置  
セブン&アイグループの店舗に  
ペットボトル回収機を設置し、  
在庫で約500万本のペットボトルを回収、  
回収されたペットボトルは  
新しいペットボトルや食品などに再生されています。  
\*2019年度実績

※1 セブン-イレブンでは5本で1nanacoポイントもらえます。  
※2 イトーヨーカドーでは1本で2リサイクルポイントもらえます。  
500リサイクルポイントためると50nanacoポイントと交換できます。  
※①セブン-イレブン店舗及び②イトーヨーカドー店舗のペットボトル回収機について、ポイントの連携は行っておりません。



ペトリファインテクノロジー株式会社

- ケミカルリサイクル技術「BRING Technology™」では、再生困難とされたPETボトルであっても、安心・安全であるまったく新しいPETボトルに何度でもよみがえらせることができます。
- 分別し排出したペットボトルが、再びペットボトルとして活用される具体的なイメージを地域住民の方々にもっていただくことで、今後リサイクル意識の更なる向上を期待することができ、あわせて啓発活動にも取り組んでいきます。



アサヒ飲料株式会社

- アサヒ飲料は、市内企業のペトリファインテクノロジー社の独自技術、日本で唯一のケミカルリサイクル「BRING Technology™」によって再生された樹脂を使用し、ボトルtoボトルを推進しています。
- 川崎市のプラスチック資源循環の中で、製造事業者としての「つくる責任つかう責任」を果たしていきます。

他にもラベル削減の取り組みがいろいろ！  
左) シンプルエコラベル  
右) ダイレクトマーキングボトル



- 川崎市内で発生する使用済みPETボトルを再生PETボトルの原料となる「PETフレーク」として生まれ変わらせます。
- 川崎市内におけるペットボトル資源循環の一翼を担います。

ボトル to ボトル  
リサイクルにより  
CO<sub>2</sub>発生を60%削減



- ペットボトルのFtoPダイレクトリサイクルにより、脱炭素社会の実現に貢献します。

